

目 次

VISION

「基礎医学と臨床医学の壁」(小杉忠誠)	129
---------------------------	-----

SCIENCE TOPICS

ショウジョウバエの加齢に伴う学習記憶能力の低下(ボケ)は amnesiac 情報伝達経路が関与する(田村拓也)	131
--	-----

LECTURES

非侵襲的脳機能画像法の歴史と原理(定藤規弘)	132
------------------------------	-----

PROFILE

柚崎通介	139
箕越靖彦	140

HELLO PSJ

日本とアメリカ, 生体と分子, 憧れと現実の狭間で(八木淳一)	142
fMRIによるHigh Resolution Mappingを目指す 研究室からの便り(福田光洋)	144

AFTERNOON TEA

前島 洋	146
杉原 泉「私の生理学研究について」	147
石渡貴之「人とのつながりの大切さ!」	148

INFORMATION

「生理学若手サマースクール2004」開催のご案内	150
第36回千里ライフサイエンス技術講習会	151
第97回近畿生理学談話会のお知らせ	152
第43回日本生気象学会・大会のご案内	152
第8回(平成16年度)久保亮五記念賞 受賞候補者推薦要項	153
九州工業大学・大学院生命体工学研究科・ 脳情報専攻大学院生募集	153

RECORDS

生理学若手サマースクール2003開催報告	155
----------------------------	-----

CALENDAR

主な研究集会日程	157
----------------	-----

〈表紙の図〉

「ラット大脳皮質体性感覚野からのin vivoパッチクランプ記録法」土井 篤，
水野雅晴，古江秀昌，吉村 恵：日生誌 Vol. 65, No. 10：P. 328, 2003

図5. Neurobiotin (0.2%) を添加した細胞内液を用いて記録し，灌流固定したニューロンの形態

A：V層で記録された錐体細胞を示す。この細胞は大脳皮質表層に先端突起を伸ばしている。

B, C, D：表層で記録された細胞を示している。

(本文参照)